


## 2021年 水稻作柄解析試験における生育状況

福島県農業総合センター  
8/31現在

### コシヒカリ


場所	幼穂形成始期	出穂期	成熟期	籾黄化率(%)	8/31ほ場の様子(出穂期+24日)・備考	
移植日	年次 (月/日)	(月/日)	(月/日)	(出穂期+20日)		
本部 (郡山市)	本年	7/18	8/7	未達	0.4	
	前年	7/25	8/14	9/24	-	
	平年	7/21	8/12	9/28	-	
	平年差・比	-3	-5	-	-	
(参考)収量構成要素						
5/14移植	精玄米重	穂数	1穂籾数	登熟歩合	千粒重	
	年次 (kg/a)	(本/m <sup>2</sup> )	(粒/穂)	(%)	(g)	
	前年	57.5	371	80.2	92.6	20.9
	平年	61.5	440	71.8	90.5	21.7



センター移転後最も早い出穂期

### ひとめぼれ


場所	幼穂形成始期	出穂期	成熟期	籾黄化率(%)	8/31ほ場の様子(出穂期+32日)・備考	
移植日	年次 (月/日)	(月/日)	(月/日)	(出穂期+31日)		
本部 (郡山市)	本年	7/11	7/30	未達	6.3	
	前年	7/16	8/6	9/12	76.8	
	平年	7/14	8/4	9/17	(47.7)	
	平年差・比	-3	-5	-	13	
(参考)収量構成要素						
5/14移植	精玄米重	穂数	1穂籾数	登熟歩合	千粒重	
	年次 (kg/a)	(本/m <sup>2</sup> )	(粒/穂)	(%)	(g)	
	前年	63.9	458	64.7	97.4	22.2
	平年	64.1	531	58.7	93.6	22.1



センター移転以降H27と同率で最も早い出穂期

### 天のつぶ


場所	幼穂形成始期	出穂期	成熟期	籾黄化率(%)	8/31ほ場の様子(出穂期+31日)・備考	
移植日	年次 (月/日)	(月/日)	(月/日)	(出穂期+30日)		
本部 (郡山市)	本年	7/10	7/31	未達	0.3	
	前年	7/16	8/7	9/13	43.2	
	平年	7/14	8/6	9/19	(28.9)	
	平年差・比	-4	-6	-	1	
(参考)収量構成要素						
5/14移植	精玄米重	穂数	1穂籾数	登熟歩合	千粒重	
	年次 (kg/a)	(本/m <sup>2</sup> )	(粒/穂)	(%)	(g)	
	前年	58.1	417	63.5	96.7	22.7
	平年	63.6	493	61.0	95.6	22.3



過去で最も早い出穂期

### 福笑い

場所	幼穂形成始期	出穂期	成熟期	籾黄化率(%)	8/31ほ場の様子(出穂期+23日)・備考	
移植日	年次 (月/日)	(月/日)	(月/日)	(出穂期+19日)		
本部 (郡山市)	本年	7/18	8/8	未達	0.2	
	前年	7/25	8/16	9/27	-	
	前2ヶ年	7/26	8/15	9/28	-	
	前2ヶ年差・比	-8	-7	-	-	
(参考)収量構成要素						
5/14移植	精玄米重	穂数	1穂籾数	登熟歩合	千粒重	
	年次 (kg/a)	(本/m <sup>2</sup> )	(粒/穂)	(%)	(g)	
	前年	63.6	387	74.0	96.4	23.1
	前2ヶ年	63.7	449	66.5	93.1	23.4



前2ヶ年より出穂期が7日早い

注1) 条間30cm×株間16cmで、栽植密度は20.8株/m<sup>2</sup>(約70株/坪)である。株当たり植付け本数は4本。

注2) 福笑いの窒素施肥量は、本年・前年 基肥0.4kg/a+追肥0.2kg/a、前々年 基肥0.6kg/a+0.2kg/a。

注3) 籾黄化率は前3ヶ年平均値を平年値としているため、( )で示した。